



# 論語と算盤の渋沢哲学と倫理の経済を

したりする。同窓会なんかの集まりにも出る。だから認知症という事については、そういう社会というものの考え方の交換というのは非常に大事で、「認知症フレンドリー社会」、こういうものに踏み込んでいくという事だと思えます。

——考え方を転換させるわけですね。もうひとつのテーマですが、昨年1月から5月にかけて海外をずっと回りましたが、世界的に景気が悪い。このグローバル化したなかで、我々のビジネスは、資源を海外に求めざるを得ないんです。そこで、世界経済というのは今後どのようなようになってくると思えますか。

太田 世界の経済と政治というのを見ると明らかにこの2、3年、大きな変化を見せてきたと思えます。一つは難民が動く。それとも一つは格差が先進国で激しくなってきたというところで、上位の1%がかなりの利益を独占しています。

この二つの構造的要因から、自分の国の事をもっと大事にしようという動きが世界のポピュリズムとして、イギリスのブレグジットもそうですし、イタリヤの憲法を変えるという事についての投票行為もそうです。ヨーロッパ全体が右の勢力が台頭してきています。アメリカもかなり保護

主観的になる。中国との貿易戦争が世界的問題となりました。これは特に先進国は明らかに変化してきています。そうして、この自国主義に陥った時に経済は大変なことになる。全体がお互いに短期で見れば自分の国は良いかもしれませんが、長期的に見れば交流がある方が経済は良いに決まっています。全体的に落ち込んでいくというような状況になっていくというのが、今の世界の政治・経済がリンクした問題だと思えます。

と、中国のBATといわれるものとの対決があります。GAFAMは、GoogleにしてもAmazonにしてもあらゆる業界に全部入っていく、富を世界的に独占する。いずれにしても世界を数少ない企業が独占していくという事に対してメスを入れなくてはいいという動きがここから出てきています。これは、これから2020年代からの世界経済・政治、そしてAI・ロボット時代は急速に変化します。だから不安定ななかで、どのようにこれから世界が協調していくか、或いは先進国が生き抜いていくかということについてもっと考え抜いていかなければいけません。

——第四次産業革命を解きながらも、またどういうAmazonの話もしながらも、やはり基本は人間である、人間社会であるという事と、それから文化というものを大事にして、対中間階級を含めて世界的な経済政策を考えていかなきゃいけません。

太田 企業を営んでいる人にとれば、激しい競争のなかで頑張ることが大変なことだと思えます。しかし、例えば渋沢栄一が二万円札になりませんが、今「論語と算盤」という渋沢栄一の本が注目をされています。ちょっと考えてみれば、論語と算盤というのは、商売をする、或いは仕事を発展させるけれども、論語というその思想性、哲学性、倫理というものもしっかり持っているかないといけないという指摘ですね。これがずっと続いてきた日本の良さだし、株主は一番大事かもしれないけれども、社員が大事だと。給料とかいろんなものでも、できるだけ上げていってやらなくてはいいけない。それに商取引での信頼性が大事ということですね。

そこを我が党として、庶民の政党として、福祉の党として、ひとりごと大切にする生活者の党としての立脚点に常に立つ。競争原理の中にあるけれども、相手との信頼を大切に、社員を大切に

にどう事を考えていく安定して働けるように力を注ぐことが大事だと思えます。

——災害のレベルが変わったということもよく認識しなくてはいいですね。この20年代の日本の「安全」「安心」には防災・減災の本格的対策が不可欠です。「安全」「安心」がなければ、経済の発展も望めません。命を守るインフラですね。

太田 「安心」という事では、災害が明らかにレベルが変わっているんです。特別警報というのをつくったのは私が国交大臣の時で、2013年の8月30日にスタートを切りました。注意報とか警報があったんですけど、「本当に危ない。逃げな」と命にかかわる」と言うために特別警報をつくったんです。

特別警報を作って3、4年間は1年に1県か2県くらいしか出なかったんです。ところが一気に変わったのが一昨年、昨年です。一昨年の西日本豪雨ではいっぺんに11府県。それで昨年はいっぺ

んに13都県。こういう事は、海水温が2度くらい上がったという報告もあるけど、やっぱりもう災害のステータスが変わったという事なのではないでしょうか。

今回の大雨は50年に一回のものかもしれない。しかし同じものが、50年後に来るんじゃない。5年に1回は来るという構えをした防災に、全力を尽くさなくてはいい。

今回は利根川も荒川も何とか守られた。利根川ではハッ場ダムが大きな動きをしました。ハッ場ダムが民主党政権時代にストップしましたが、私事では、災害が明らかにレベルが変わっているんです。特別警報というのをつくったのは私が国交大臣の時で、2013年の8月30日にスタートを切りました。注意報とか警報があったんですけど、「本当に危ない。逃げな」と命にかかわる」と言うために特別警報をつくったんです。

——家具という事で、豪雨ではいっぺんに11府県。それで昨年はいっぺんに13都県。こういう事は、海水温が2度くらい上がったという報告もあるけど、やっぱりもう災害のステータスが変わったという事なのではないでしょうか。

今回の大雨は50年に一回のものかもしれない。しかし同じものが、50年後に来るんじゃない。5年に1回は来るという構えをした防災に、全力を尽くさなくてはいい。

今回は利根川も荒川も何とか守られた。利根川ではハッ場ダムが大きな動きをしました。ハッ場ダムが民主党政権時代にストップしましたが、私事では、災害が明らかにレベルが変わっているんです。特別警報というのをつくったのは私が国交大臣の時で、2013年の8月30日にスタートを切りました。注意報とか警報があったんですけど、「本当に危ない。逃げな」と命にかかわる」と言うために特別警報をつくったんです。

# 家具は平和な人間産業の日々を創る

——家具という事で、豪雨ではいっぺんに11府県。それで昨年はいっぺんに13都県。こういう事は、海水温が2度くらい上がったという報告もあるけど、やっぱりもう災害のステータスが変わったという事なのではないでしょうか。

今回の大雨は50年に一回のものかもしれない。しかし同じものが、50年後に来るんじゃない。5年に1回は来るという構えをした防災に、全力を尽くさなくてはいい。